

地域学校協働活動：小学校への支援レポート

「つ・な・ぐ」第3号では、「地域学校協働活動」の一つとして、中学生が自分たちの地域の行事などに参加し、ボランティア活動に取り組んだ様子をお伝えしました。今号は、反対に保護者や地域の方々がボランティアとして小学校の授業に協力して下さった様子をお伝えします。各学校からの要請に基づき、それぞれの方法で協力者を得て、実現した取組です。

取手西小5年生調理実習

6月11日（水）と12日（木）の2日間、取手西小学校の5年生2学級が、それぞれ家庭科の「調理実習」に取り組みました。

取手西小学校には昨年度から「西小スマイルサポーター」が取組を開始していて、様々な授業に地域の方々がボランティアとして参加しています。

この日のメニューはジャガイモとホウレン草のゆでもの。まずはジャガイモの皮をむいて切り、鍋に火をかけてゆでていきます。この日参加して下さった3名のボランティアの方々は、時折手本を示して丁寧に、また、児童の取組を近くから見守って



くださいました。担任の先生の指示をよく聞き、グループで協力して取り組んでいた5年生。おいしくでき上がったゆで野菜を堪能しました（その後の給食、ちゃんと食べられたかなあ…）。

「西小スマイルサポーター」については、西小のHPをご覧ください。



久賀小学校5年生水泳学習

久賀小学校では6月中旬から水泳学習が始まりました。6月19日（木）は、5年生が今年度最初の授業、学校からバスで取手聖徳女子高等学校へ行き、プールをお借りして授業を行いました。

水泳指導は、主に「聖徳らくゆうクラブ」の方々や他に大学生が担当してくれます。学校からは学級担任の他、引率として校長先生や教育補助員も同行し、さらに久賀小学校で「学校支援」にあたる「久賀小応援サポーター（KOS）」の「学習部」の方、2名が参加しました。

この授業ボランティアの役割は、水泳指導や緊急時対応ではなく、あくまで監視役。プール使用上のマナー指導や困ったことがあったときに

学校職員にそれを伝える役割です。こうした「大人の目」が増えることは学校としても大変ありがたい、校長先生はそうお話をされていました。子供たちも安心して水泳学習に取り組んでいました。今後も、他学年の水泳学習に「学習部」の皆さんが協力して下さるそうです。



「つ・な・ぐ」第1号で、久賀小学校の田植え体験について紹介しましたが、寺原小学校の5年生は、一人一つずつのバケツを使って稲を育てる学習に取り組めます。



寺原小学校5年生バケツ水稲栽培



6月19日（木）5・6時間目、5年生2学級の児童が集まり、実際に土を入れたバケツに苗を植える体験活動を行いました。この日の特別講師の先生は、寺原小学校の学校運営協議会の委員の方です。この委員さんはご自身でも農業を営んでいて、豊富な知識とご経験に基づいて、子供たちに丁寧に教えて下さいました。

まずはひとつまみの肥料を入れて土になじませます。そこに、少し大きくなった稲の苗を植えていきます。小さな穴を掘って植え、よく土を固めたら、いっぱいの水を入れて完了。あとは毎日毎日の自分自身の管理に稲の生長が委ねられることになります。



質問コーナーでは、お米の種類の違いや品種改良のしかた、害虫や病気から稲を守る方法など、たくさんの質問が出ましたが、一つ一つ丁寧に答えいただきました。ちなみにこの日植えた稲は「コシヒカリ」。日本でいちばん好まれている品種です。秋にはおいしい自作のお米が食べられるとよいですね。特別講師の委員の方に大変お世話になりました。



今回紹介した三つの取組のうち、西小の「調理実習」の支援と久賀小の「水泳学習」の支援の二つと、寺原小の「バケツ水稲栽培」における支援は、ボランティアの方の立場が異なります。すなわち、西小と久賀小の支援は、あくまで学級担任が主となる授業に際し、その補助役として地域や保護者の方々が協力をしていただくものです。それに対し寺原小の授業の場合、学校運営協議会の委員の方がメインの授業者となっています。こちらは「外部講師・ゲストティーチャー」とも呼ばれる立場で、学校の教員が主となることが困難な授業などで協力をお願いするものです。

取手市教育委員会では、「地域人材活用事業」を推進しています。学校からの要望に即した、こうした「外部講師・ゲストティーチャー」を積極的に活用し、授業の質の向上を目指しています。コミュニティ・スクールにおける「学校支援」と少しシステムが異なる部分もありますが、これからは様々な地域のある「教育的資源・人材」を活用し、学校教育がより充実したものになっていくことを願います。そして、「地域から学ぶ」機会を通して、地域に貢献していける人材育成につなげていくことが私たちの願いでもあります。

CSコーディネーター募集しています！

◆勤務条件等については生涯学習へ
業務内容は各学校へお問い合わせください
取手市役所 0297(74)2141



各学校でコミュニティ・スクールの活動が展開し、学校運営協議会の運営や「地域学校協働活動」に携わる役割として「CSコーディネーター」の存在が重視されています。しかし、現在このコーディネーター役に就いている方は、＜白山小・取手東小・取手西小・桜が丘小＞の4校のみ。地域と学校の架け橋となって、コミュニティ・スクールの推進にご協力いただける市民の方を募集しています！

※「有償ボランティア」という立場で、週1回程度勤務します。年齢、性別、経験の有無は問いません。謝金として、時給1,480円が支給されます。具体的な活動内容・活動時間・日数等については、学校及び教育委員会と調整して決めていきます。